



2016年第3 四半期決算説明資料

2016年1月1日 ~ 2016年9月30日

竹本容器株式会社
(東証2部 4248)

2016年11月11日

 TAKEMOTO

1.2016年第3四半期トピックス

2.2016年第3四半期業績概要

3.事業計画の進捗について

①金型（新製品）開発状況

当社グループでは、中国子会社で手掛けている金型製作工程の一部内製化の施策を進行させるとともに、金型設計標準化ならびに金型開発体制の拡大強化を行うことで、2018年には年間540型（スタンダードボトルとカスタムボトルの合算）の金型製作の実現を目指しています。

第3四半期までの金型製作の進捗状況は下記のとおりです。

	完成金型数	製作中	合計
日本	63型 (13型)	52型 (12型)	115型 (25型)
中国	77型 (15型)	88型 (16型)	165型 (31型)
合計	140型 (28型)	140型 (28型)	280型 (56型)

※表の（ ）は内数でカスタムボトル用金型

2016年9月末時点での自社金型数は**2,998型**になりました。

② TAKEMOTO YOHKI INDIA PRIVATE LIMITED 設立

2020年代中には人口世界一となる見通しのインドにおけるプラスチック容器の需要増に向けて、新たなスタンダードボトルの供給基地を設置するため、8月31日付けでインド グジャラート州に100%子会社を設立しました。今後、工場建設へ向けた具体的な活動を行っていきます。

③ 岡山事業所 稼働開始

手狭となった大阪ブロー工場の移転拡張を目的とした岡山事業所は9月末に竣工、10月末より大阪ブロー工場からの移転作業を進め11月7日より生産を開始しました。今後順次生産能力の増強も行い、西日本地域を中心とした製品供給の拠点となります。



〔新工場の生産ライン〕



〔岡山事業所全景〕

1.2016年第3四半期トピックス

2.2016年第3四半期業績概要

3.事業計画の進捗について

2.2016年第3四半期業績概要



2016年第3四半期連結決算ハイライト（前期末比）

	2016年第3四半期		2015年12月期（通期）	
	百万円	%	百万円	%
売上高	9,686	100.0	12,221	100.0
営業利益	1,077	11.1	1,250	10.2
営業外損益	10	0.1	25	0.2
経常利益	1,088	11.2	1,275	10.4
特別損益	▲32	▲0.3	▲17	▲0.1
税金等調整前 当期純利益	1,055	10.9	1,257	10.3
四半期（当期） 純利益	720	7.4	827	6.8
減価償却費	574		638	
設備投資額	1,397		1,459	
（うち 金型）	316		314	
EBITDA	1,651		1,888	

売上高

日本中国とも積極的な営業活動を展開したが、人民元安のため中国売上高は円ベースは計画未達。

百万円

地域別グループ	2016/3Q	2015/12
日本	7,650	9,174
中国	2,035	3,027
その他	163	179

営業利益

粗利益率は0.6Pのマイナスながら販管費率が1.5P低減となり、売上増による増益効果も加え営業利益率は上昇。

百万円

地域別グループ	2016/3Q	2015/12
日本	788	876
中国	278	341
その他	12	30

四半期純利益

営業利益率upにより純利益率も上昇

【参考】平均為替レート

	2016年 第3四半期	2015年12月期
対人民元	16.48 円	19.23 円
対米ドル	108.57 円	121.10 円

2.2016年第3四半期業績概要



2016年第3四半期連結決算ハイライト（前年同期比）

	2016年第3四半期		2015年第3四半期	
	百万円	%	百万円	%
売上高	9,686	100.0	9,118	100.0
営業利益	1,077	11.1	991	10.9
営業外損益	10	0.1	6	0.1
経常利益	1,088	11.2	997	10.9
特別損益	▲32	▲0.3	▲13	0.1
税金等調整前 当期純利益	1,055	10.9	984	10.8
四半期純利益	720	7.4	667	7.3
減価償却費	574		465	
設備投資額	1,397		960	
（うち 金型）	316		257	
EBITDA	1,651		1,456	

売上高

中国は現地通貨ベースで伸びるも、対円での人民元安によりマイナスに。

地域別グループ	2016/3Q	2015/3Q
日本	7,650	6,770
中国	2,035	2,342
その他	163	143

営業利益

日本は売上増による利益金額の増加に加え販管費の増加を抑え、営業利益も増加。

地域別グループ	2016/3Q	2015/3Q
日本	788	663
中国	278	294
その他	12	32

四半期純利益

実効税率の高い日本の利益割合が高くなったため、税負担増加し純利益率は前年並みことどまった。

【参考】平均為替レート

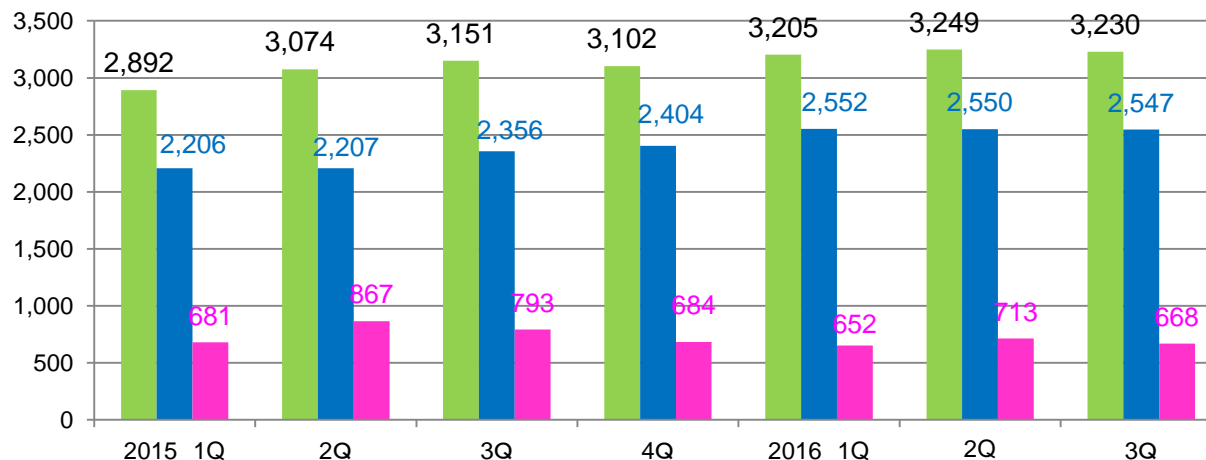
	2016年 第3四半期	2015年 第3四半期
対人民元	16.48 円	19.33 円
対米ドル	108.57 円	120.98 円

2.2016年第3四半期業績概要

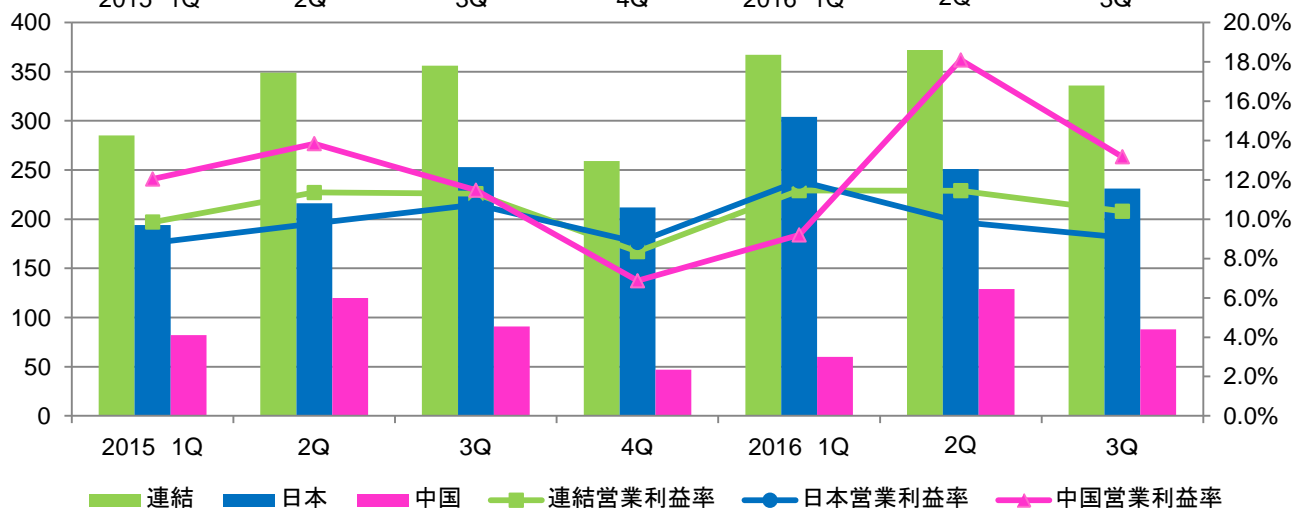
2015年以降の四半期業績の推移

単位：百万円

〔売上高〕



〔営業利益〕



※日本、中国はそれぞれ当該地域のグループ企業業績を示している

区分別販売実績

販売先の主要事業内容ごとの販売実績

区分	2016年第3四半期		2015年第3四半期	
	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%
化粧・美容	6,002	62.0	5,318	58.3
日用・雑貨	465	4.8	413	4.5
食品・健康食品	899	9.3	744	8.2
化学・医薬	449	4.6	442	4.9
卸、その他	1,869	19.3	2,198	24.1
合 計	9,686	100.0	9,118	100.0

※ 上記区分は販売先の主要事業内容により分類したものであり、
販売先における実際の用途と上記区分名称は異なる場合があります。

区分別販売実績

製商品の内訳ごとの販売実績

区分	2016年第3四半期		2015年第3四半期	
	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%
自社製品 (スタンダードボトル)	7,154	73.9	6,695	73.4
顧客金型製品 (カスタムボトル)	1,031	10.6	1,039	11.4
他社製品	1,253	12.9	1,083	11.9
材料その他	247	2.6	299	3.3
合 計	9,686	100.0	9,118	100.0

※上記区分は以下により分類しています

自社製品：当社所有の金型を用いて生産した製品（スタンダードボトル）

顧客金型製品：顧客が金型費用を負担している製品（カスタムボトル）

他社製品：顧客の要望等により他社から仕入れた品物

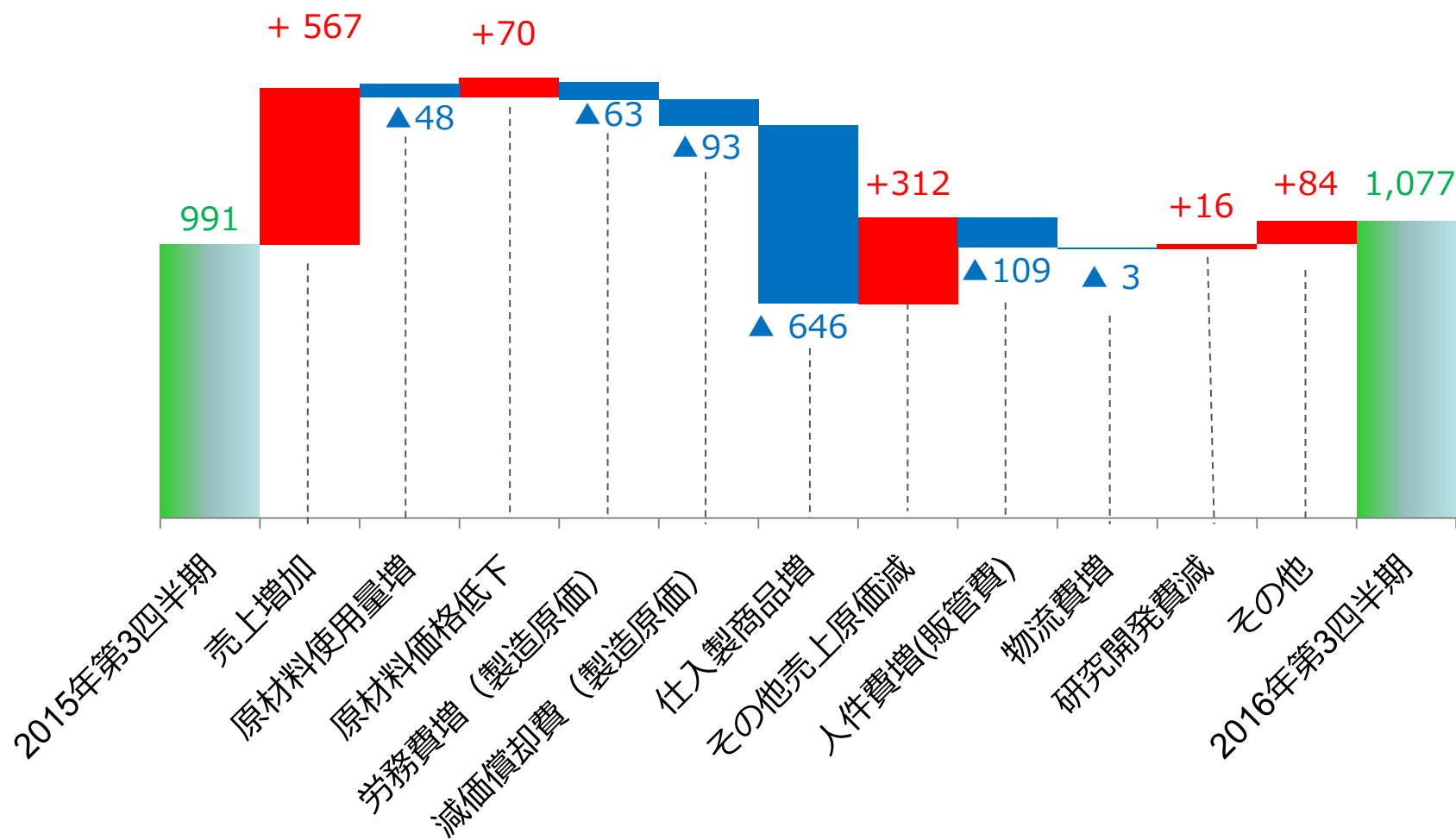
材料その他：協力メーカーへの原材料を販売した物等

製造原価の内訳について

	2016年12月期 第3四半期累計		2015年12月期		2015年12月期 第3四半期累計	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売上高	9,686	100.0	12,221	100.0	9,118	100.0
商品及び製品売上高	9,609	99.2	12,087	98.9	9,023	99.0
商品及び製品売上原価	6,623	68.4	8,210	67.2	6,096	66.9
商品及び製品仕入高	2,761	28.5	3,252	26.6	2,356	25.8
製造原価	3,966	41.0	5,073	41.5	3,786	41.5
材料費	1,190	12.3	1,628	13.3	1,213	13.3
労務費	1,535	15.9	2,001	16.4	1,471	16.1
経費	1,236	12.8	1,455	11.9	1,103	12.1
売上総利益	2,986	30.8	3,846	31.5	2,888	31.7

※2015年に低減した減価償却費（経費）が2016年では増加している。

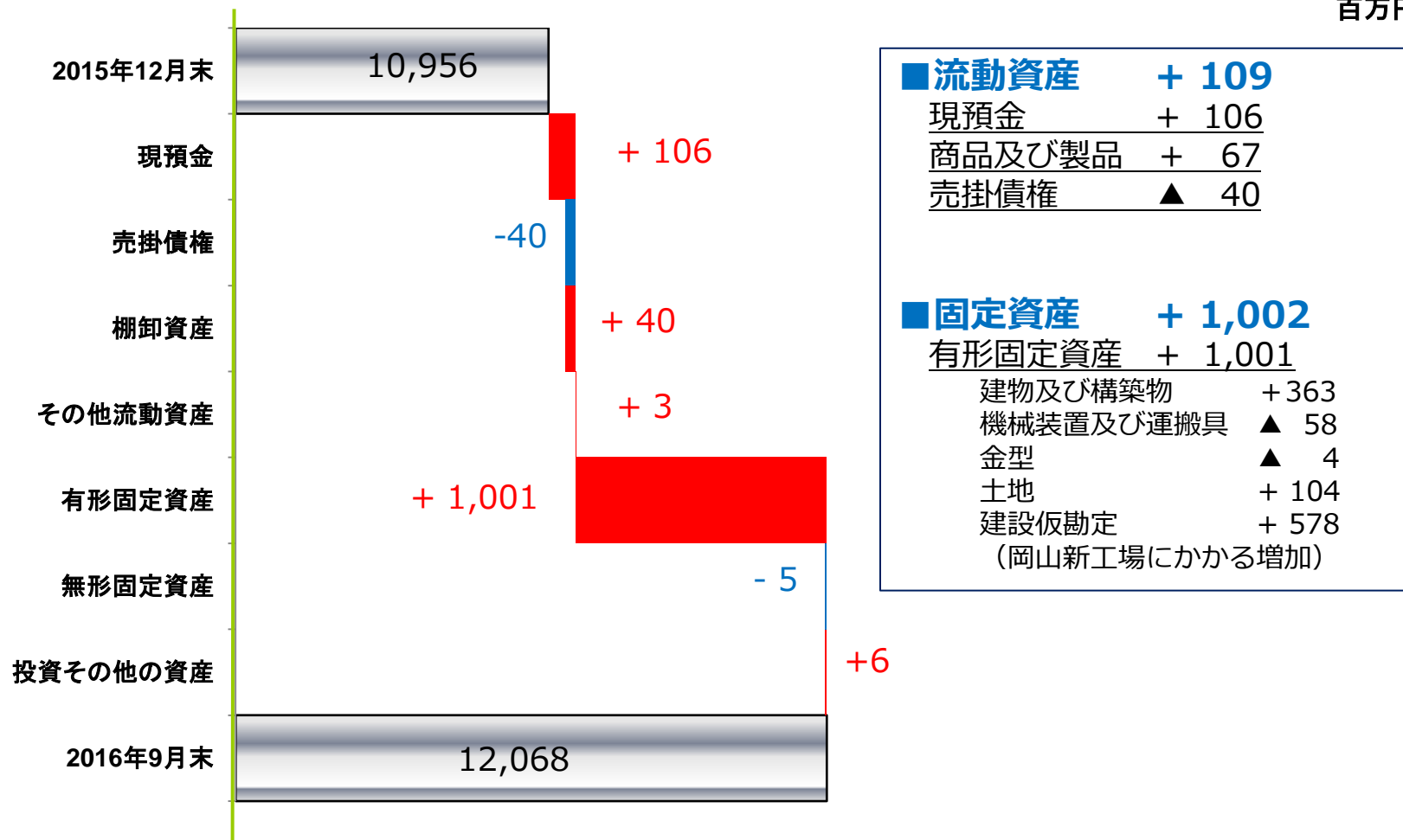
2016年第3四半期 営業利益の増加分析



2.2016年第3四半期業績概要

2016年第3四半期 連結貸借対照表 資産の部

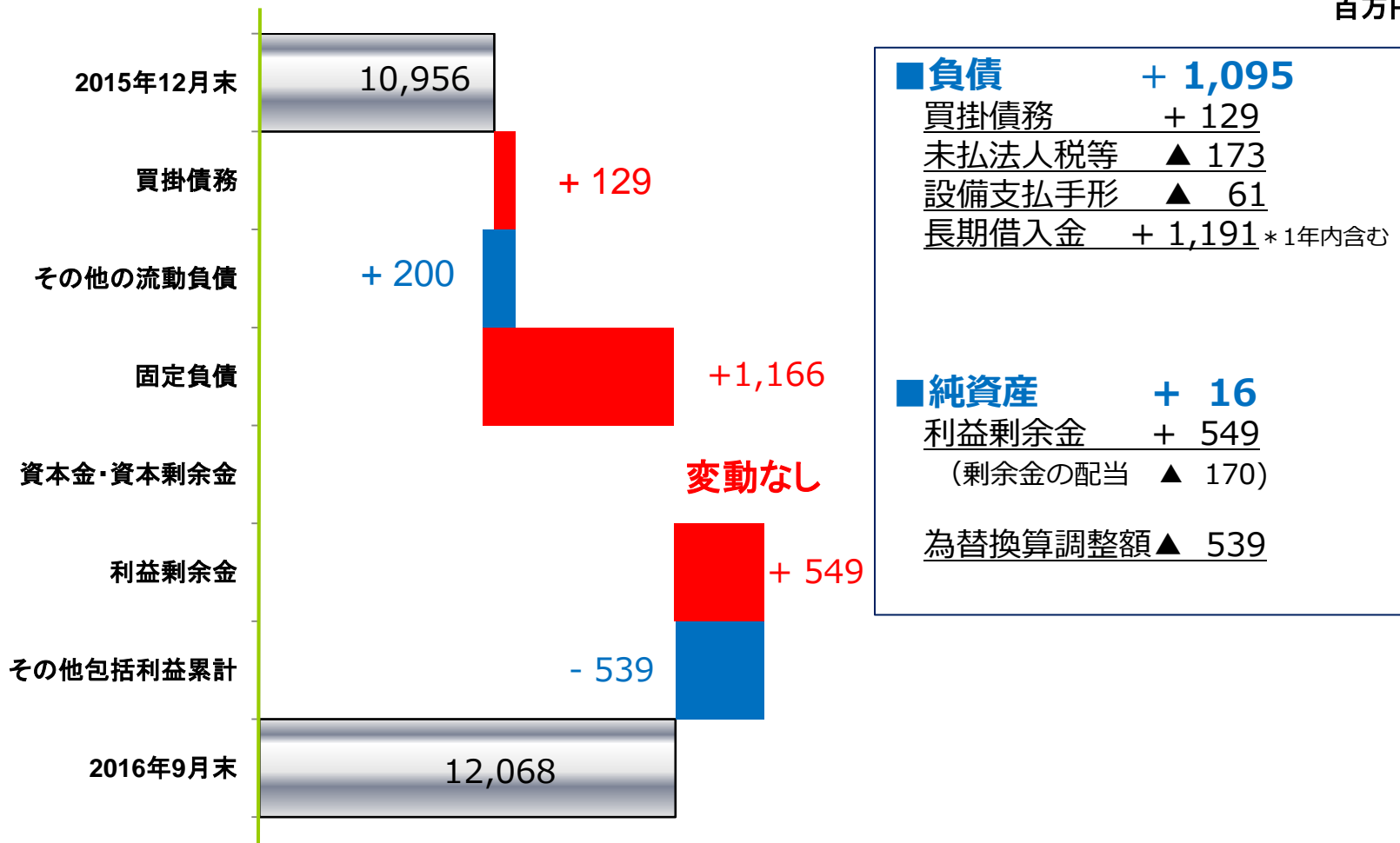
百万円



2. 2016年第3四半期業績概要

2016年第3四半期 連結貸借対照表 負債・純資産の部

百万円



1.2016年第3四半期トピックス

2.2016年第3四半期業績概要

3.事業計画の進捗について

3.事業計画の進捗について

2016年12月期 損益進捗状況

単位：百万円	2016年第3四半期実績		進捗率 (対通期予想)	2016年12月期予想
		%	%	
売上高	9,686	100.0	78.2 (対修正予想)	12,380
営業利益	1,077	11.1	89.6	1,202
経常利益	1,088	11.2	91.8	1,186
当期純利益	720	7.4	92.2	781

3Qまで順調に推移しているが、4Qでは大阪ブロー工場から岡山事業所への移転にかかわる費用の発生を見込んでおり、通期業績予想の変更はありません。

※第3四半期実績平均
為替レートは右表の通り

2016年第3四半期

対人民元	16.48円
対米ドル	108.57円

配当政策（変更なし）

	2015年12月期	2016年12月期 計画
中間配当金	12円	14円
期末配当金	16円	14円
年間配当金	28円	28円
当期純利益	827百万円	781百万円
配当性向	19.2%	20.4%

- ・利益還元策は配当性向20%を目標として実施する方針

「挑戦」なくして進化なし

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。